

JAITI 44

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発行 公益財団法人 日本農業研修場協力団
事務所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイチ

二〇一二年はアメリカをはじめ中国や韓国、そして日本など世界的にも大きな選挙が行われ、新しい体制のもとに動き出しました。世界経済の安定、恒久平和への道筋などなど、協調した取り組みを期待します。ネパールではいまだに政府の確立が見えない状況にありますが、国民生活の中では、物資の調達も豊富になりつつあり、携帯電話の普及などさまざまな光景を目にします。カトマンズ市内にあって、かつてのサリーの民族衣装からジーンズで闊歩する若者の姿や高層ビルの建築など、着実に近代化が訪れています。しかし、農村部では、若者の流出、高齢化など、日本の農村部がたどったと同様の現象が起きており、農業を主産業とするネパールにも危機感が出てきています。

◆学校の状況

レカリ・バシファント学校では、七月より新たに就任した学校経営委員会（SMC）会長のもとに順調に運営が行われていきます。今年度から実質的に地元の運営に移行したことから、委員会においてもより一層の自立に向けた取り組みとして、政府関係機関への支援の要請や自主事業による運営費の確保などを検討していくことにしています。



④農場内の建物を改修した9年生の教室（2階）
⑤少し狭いが熱心に学ぶ9年生の19人



カカニブライター学校では、かつてマオイストによって被害を受けた農場内の建物を改修し、待望の9年生の教室の整備が終わり、新しい教室での授業が始まりました。現在の9年生は十九人おり、身体も大きくなって少々窮屈さは感じられますが、ちゃんとした教室で学ぶことができるようになり、勉学に熱心に取り組む生徒の姿が見られます。

当教室の整備にあたっては、世田谷区の鎌倉恵子さんから大きなご支援をいただきましたことから、鎌倉教室と呼ぶことにしています。今後も引き続き同建物内に一〇年生の教室を整備して、一〇年制の学校としての受入れを進めていきます。

とにしています。

◆カカニの農場で

イチゴの栽培普及に貢献した実験研修農場も、現在は手入れが行き届かない状態ですが、昨年の夏よりネパール農業研究所（NARC）が、農場の一部の農地を利用して菜類の栽培試験を始めています。約三〇種類の菜類を作付けして生育状況を調査していきますが、この取り組みは、カカニ地域において適性のある野菜を見いだすと共に、地域の農民のために新しい作物の栽培を学ぶ場としても活かしていきたいとのこと、地域農業の振興に政府機関も力を入れてきています。

◆ジャイチネパール事務所は昨年の春、事務所の移転がありました。これまでの事務所を他の事業者へ貸し付け、その家賃収入を運営費の財源確保として見込んでおりましたが、その後、相手事業者の事情により契約の続行が困難となったため、再度十二月に前事務所に事務所を戻しました。

このところ、短い間で事務所の移転が続き、訪問される皆さんには大変ご迷惑をお掛けしていますが、これからも自立した運営のため、財源の確保について積



▲カカニ農場でネパール農業研究所が菜類の栽培試験・生育調査を始めた。ブライター学校の寮の食材にもなります。

極的に努力をしていくこととしていきますので、ご理解をお願いいたします。

◆農業支援事業について

JICA基金活用事業によるネパール農業指導を、六月一〇日から二七日に実施しました。二月に引き続いてムスタン地域のツクチエ、ナウリコットほか周辺の農村において大根、はくさい、ブロッコリーなどの野菜を中心に、栽培技術や利用拡大について、土屋興亜農業指導員より、現地農民に適切にご指導いただきました。詳細については三頁の報告をご覧ください。

◆理事会

十二月八日に平成二十四年度上半期の事業状況報告について審議し、承認されました。

バシファント学校でも英語で授業を



▲レカリ・バシファント学校2年生、九九を習い始めた。

ネパールでは学校教育の中で英語による授業を行う傾向が強くなっています。英語に対する魅力もあり、親たちからも学校において教師が英語で教えることが望まれ、英語で教える学校を選ぶようになってきました。そのようなことから、教師も英語で教える能力が無くては、無理やり英語で授業をしなければなりません。バシファント学校の教師たちもこ

うした問題に対応していかなければなりません。二〇一一年から一年生と二年生、それから二〇一二年に三年生に英語で教える授業を始めました。しかし、英語で教えることの出来る教師がいないために四年生まで続けることが出来なかつたため、英語の教師は三年生までに集中しています。英語で教えるプログラムを強化するため、楽しく覚えやすくする目的で教室の壁全体に教材などの絵を描き、教科書にある数字や文字を英語で描いてあります。また、教室の床は寄せ木細工の床になっており、生徒たちは床に輪の形に座って壁に描かれているも



▲教材等の絵を壁に描いてある。生徒達は教室を自由に動き、読み書きの練習をしている。

のを真似しながら読み書きの練習をしています。生徒たちは、木の床が張られた教室を自由に動くことができ、この英語の授業方法は郡内の生徒たちにも魅力となっています。(ビムラル・グルン)



▲レカリ校の近くに女性の教育のための建物が出来上り、20才までの女性を対象に週2回開校

ネパールの教育制度の改革と現在の政治状況



ネパールの学校の主な改革計画は、教育の再編成です。これは、現在の一年生から五年生は小学校、六年生から八年生は下級中学校、九年生と十年生は中学校、十一年生と十二年生が高等学校の四段階の構成を見直し、一年生から八年生までを基本段階の教育に、九年生から十二年生を高校段階の教育の二段階に再編する計画です。

国会が解散していることから、この改正の教育制度は承認される見込みがありません。その理由は、バブ・ラム・バットライ氏に導かれて現政府の大臣たちの閣議によりこの再編制度を承認し大統領に提出しましたが、大統領が承認しませんでした。

をもう一週間延長しました。全政党の意見がまとまって新しい政府が出来ると、大統領はこの再編成の教育制度を承認する可能性は高いことから、その後、このSSRPプログラムは順調に実行されていくものと考えられます。現在、大統領の承認待ちの状態ですが、教育内閣が六年生から八年生までを新しい教育課程で実行を進めていくことを決定しました。二〇一三年より、ネパールの十八郡の一〇〇地域の学校では、六年生から新しい教科書でこの計画を実行します。そして、SSRPによりまずと、九年生から十二年生までの新しい教育課程のプログラム作成のための中央段階の特別委員会が設置されました。

※SSRP (School Sector Reform Program) 学校再編プログラム (ビムラル・グルン)

二〇〇九年より、ネパール国内でダンクタ、ラスワ、カピルバスタ、パンケ、ダデルデュラの五つの郡において、この制度の実行を始め、二〇一二年に本格的に幅広く実行させ、二〇一五年に全国で完了させる予定でしたが、現在の過渡期の政治状況の影響で、提案された再編成教育制度を順調に広く周知することが出来なかつたことから、この計画は予定どおり実行できていません。現在、ネパールの



▲カトマンズ市内の某学校近くの道路に大きく掲げられたS.L.C試験の結果

お願い

ネパールへのジャイチの荷物運搬(主に学校のカバン・文房具)のお手伝いをして下さる方は是非ご連絡下さい。

ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

2012年6月21日～2012年12月20日迄 順不同敬称略

◆ 人的協力

〔東京都〕
鈴木善久、滝和美、田山豊

〔神奈川県〕
小林みよ子

〔長野県〕

あーすの会、白井千鶴子、柿島明子、金子明代、株式会社北澤土建、有限会社佐藤新聞店、有限会社大和印刷、田村由紀子、土屋興亜、長野合同経理センター、根岸厚次・真貴子、松久よし子、宮下篤

〔海外〕

ネパール ホテルサンセット
ビュール・アルジュン・シン
／ 絃子・トラチャン

◆ 基金・維持費・事業費

〔北海道〕

小野倫夫、中川洋子

〔宮城県〕

森甲志

〔福島県〕

岡村健

〔茨城県〕

魚津慶子、小林亨、藤井英雄

〔栃木県〕

森聖哉

〔群馬県〕

橋眞智子、塚越利通、割田

甚一

〔埼玉県〕

小澤昭信、加藤美恵子、嶋

田信子、本庄東高等学校生

徒会

〔千葉県〕

浅井邦彦、大井英臣、高橋

節子、野田マミエ、武藤貴

子

〔東京都〕

岡田信一、小野寺えり子、

河野節子、黒田秀基、木村

慈子、須藤節子、滝和美、

高木弘行、西岡巖、西重正

博、野村明賢、平林冽、正

田英子、松田重箕、守谷照

美、山縣敏子、有限会社Y

& Y 山下靖典、山科俊子、

吉岡勝行

〔神奈川県〕

井上秀夫

〔長野県〕

株式会社アオヤギ印刷、有

限会社イーグル開発成澤

希、うずら家、内山富之、

大蔵記代子、加藤忠臣・敦

子、金子元昭、菊池健介、

清住栄子、久保田寛人、高

本洋子、佐々木美保、国際

交流フェスティバル in 佐

久、小林淳、小林展子、澤

山啓司、島田基正、須藤俊

吉・栄子、有限会社大和印

刷、滝沢千栄子、司法書士



木を曳く村人 絵：マン

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。
皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

ジャイチの基本的財源として

一般寄附とは、皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。

その中より剰余資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れたします。基金は、投資信託、外債、国債などで運用し、その果実（利息）でジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

特定寄附金の募集

新たに大きい費用のかかる事業を計画した時に、その応援費用として確保することを目的としています。

■ 特定の事業において、資金が必要なときに皆様にお願いのお知らせをさせていただきます。

所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

● 個人の方が支出する寄附金の場合

所得税について ①、②のいずれかを選択してください。

① 所得控除

その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職所得金額又は山林所得金額より控除できます。（但し支出した寄附金の合計額がその年分の所得金額の40%を超える場合は所得金額の40%を限度とします。）

② 税額控除

その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。（但し支出した寄附金の合計額がその年分の所得金額の40%を超える場合は所得金額の40%を限度とします。） ジャイチよりお送りする「税額控除に係る証明書の写し」を申告書に添付してください。

住民税について

その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額に控除率を掛けた金額が所得金額より控除できます。（但し支出した寄附金の合計額がその年分の所得金額の30%を超える場合は所得金額の30%を限度とします。）

尚、住民税の寄附金控除の対象は各県又は市町村の条例で指定された寄附金のみが対象となりますのでご注意ください。上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。（税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。）

● 法人の方が支出する寄附金の場合

一般の寄附金とは別枠として{(資本金×0.25%+課税所得×5%)÷2}の金額が損金算入されます。

申告書の記載等、一定要件を満たす必要があります。

● 遺産相続時による寄附

遺産相続した方が遺産の一部を寄附した場合、寄附金額全額が、課税対象金額より除外されます。

寄附金の金額についての規定はありません。お一人お一人ご自分で決めて下さいますようお願い申し上げます。

郵便振替・銀行振込での募金

■ お振込先 ◎郵便振替 00510-4-65434
◎銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577
口座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団

竹内克彦、武田順治、富田昌利・万里子、長野県連合青果株式会社、中澤知史、箱山年子、有限会社花岡代表取締役花岡かつ子、増田シゲミ、松久よし子、松林進、国際交流フェスティバルin丸子、溝上健、宮澤令行、宮下静子、山越好彦、山崎やす、依田保、ジャイチ事務所寄付金箱

〔新潟県〕
帯瀬憲五、小森修

〔静岡県〕
宇佐美慶一、寺井智子

〔愛知県〕
伊藤正裕、神田孝子、本庄周子、安田美奈子

〔三重県〕
松井純一

〔滋賀県〕
岡田千尋、西村敏、松延宏昭

〔兵庫県〕
新海泉、谷川昌幸

〔和歌山県〕
中前孝啓

〔ジャイチネパールへ直接〕
鎌倉恵子・金子明代

〔北海道〕
中川洋子

〔岩手県〕
藤井定子

〔群馬県〕
島田寛治、松原啓子

〔埼玉県〕

◆ 寄附品

〔東京都〕
嶋田信子
鎌倉恵子、川口律子、佐瀬萬亀、沢邊節子、滝和美・三希子、山縣敏子、山田まゆみ
〔神奈川県〕
石井清・ゆき江、小林みよ子、月岡啓子、堀内フサ子
〔長野県〕
あーすの会、臼井千鶴子、有限会社美ヶ原燃料、柿島明子、加藤美幸、菊池健介・道子、清住栄子、黒田悦子、高本洋子、有限会社大和印刷、田村由紀子、富田万里子、株式会社長門牧場小林久雄、舟木公栄、松久よし子、丸山敏和、宮下静子、依田窪南部中学校ボランティア委員会
〔静岡県〕
寺井智子
〔愛知県〕
伊藤正裕、後藤康洋、後藤康、名古屋掖済会病院
〔滋賀県〕
苗村善和、宮川一男
〔兵庫県〕
乾安代、丸尾信
〔佐賀県〕
平尾紀美子
〔ジャイチネパールへ直接〕
金子明代、鎌倉恵子、鈴木善久、田山豊實
ありがとうございます。
これからも宜しく願います。

ネパール再び

鎌倉 恵子

一昨年、ジャイチツアーでネパール初体験をした。今年も、ツアーは不成立。それでも現地の人々と会話し、学校ではホームステイを、そしてミニトレッキングでヒマラヤの氷河を見たという思いが募り、無謀にも全てネパールの神様・仏様にお任せする二週間ほどの一人旅を思い立った。

一泊目のカトマンズまでは丸山氏に同行をお願いし、その後のコースは、現地ジャイチのKC氏とホテルサンセットビューの飯森絃子氏が、叶えて下さった。

十月三十一日に羽田を飛び立った旅は、ハプニングもあって、エキサイティングの連続、大満足で帰国した。



▲ライター学校で日本から持参した絵本の読み聞かせをしている鎌倉恵子さん。

ホームステイはパシファント学校のゲストルームで実現した。ダサインの祭りで、授業は始まっているものの、寄宿生は戻っていない。しかし寄宿している校長先生を含む二人の先生と同じ釜の飯を食べ、つたない私の英語と、KC氏のアシストで、楽しく会話した。食事の内容は、お馴染みのダルバートと野菜のタルカリ。私に気を遣ってスパイスを少し控えたそうだが、美味しく特にダル(豆のスープ)は素晴らしかった。あちらの普通の家庭では、台所の竈以外、家の中に火の気はない。ゲストルームも、暖房、温水なし。シユラフと湯たんぽの一晚だったが、大きく輝く星を仰ぐと寒さは吹き飛んだ。

学校には日本の昔話を英語とひらがなで併記した絵本を持参。絵を見せながら冒頭部分をそれぞれの歌ばで読み聞かせ、内容の歌が、巻末についているものは、旅の恥は何とやら、声を張り上げ、彼らにも教えた。テレビで相撲を知っているの、「金太郎」の「ハッケヨイヨイ残った」には喜んだ。ライター学校はまだ祭りの休暇中だったが、校長先生と数名の学校関係者、近くの生徒が集まった。やはり読み聞かせをして、こちらでは「花咲かじいさん」の「大判小判がザックザックザックザク」を一緒に歌った。年代の違う数名の生徒の集まりだったが、一人ずつと話が出来、内容の濃い訪問になった。



▲ジヨムソン街道を行く。

ミニトレッキングでは、晴天に恵まれ、青というより紺色の大空が広がり、見たことのないその色には息を呑んだ。念願のダウラギリの氷河やマナスル、アンナプルナも望まれたが神仏に感謝するのみであった。トレッキングの起点タサンロッジからの帰路は、ジヨムソンまで渓谷沿いの古い街道を半日歩いた。砂が巻き上がるそこには、所々に昔ながらの集落があり、また、ヨーロッパ、カナダ、中国等の旅人と会話を交わし、車では味わえない時間を持てた。この他に、ラマ教の珍しい祭りに遭遇したり、KC氏の案内で、今は援助も殆ど受けずに頑張り、様々な農業を試みている農家を訪ねたりもした。

このように、一昨年のツアーとは異なった体験が出来た。ただ、今振り返ってみると、楽しかっただけではすまされない気がする。僅か二週間の、いわゆるお客様としての滞在であるが、前回見えなかった事が少し見えたと言えようか。若者の農業離れと、荒れたカカニの農場。今も栽培され出荷している苺は、味はいいが、思ったより貧弱で傷もありがっかりした。支援期間終了後、自立してもらわなければ困るが、アフターケアも必要ではないか。金儲けを望む若者や、海外の支援に依存して薬をしたがる人もいる。若者と年長者の考えの相違も現われている。そして多民族国家としての複雑さ。小林榮氏のように、何回も足を運ばなくても、ネパールの現状、人々の意識を把握しながら、真にこの国の人々のためになる支援が出来るのだろうか。やはりネパールは遠い国だと感じた旅でもあった。

お世話になったネパールや日本の方々から感謝申し上げます。
(東京都世田谷区)

ネパールの農業・その後

農業指導員 土屋 興亜

昨年六月に状況把握と指導、支援に行ってきた。三カ所の状況について報告します。

◆ムスタン郡

二〇〇八年、中国やチベットにくいこんだ様な地域でアンナプルナヒマラヤの北側に位置する秘境ムスタン郡へ車の通れる道路が



▲ツクチェ村。トウモロコシ畑の中耕・除草。(中央・土屋指導員) 奥に見える山腹に自動車道路が開通し、リンゴの搬出が楽になった。

開通したことから、新しい指導支援候補地と位置づけ、日本から十数種類の野菜類、根菜類、豆類、そばなどを持ちこみ、四年間ほど試作検討を重ねてきました。

その結果、キャベツ、カリフラワー、ブロッコリー、白菜、大根、ニンジン、ジャガイモ、ニンニクなど栽培可能やさいの選定ができました。

現地の皆さんも現在の麦類やトウモロコシ、そば中心の農業では収益性が低く、発展性はないと問題意識を持っていたところで、やさい栽培に挑戦する気持ちが固まりました。

今まではロバの隊商に頼るしか輸送手段がなかった

ため、自家用プラス贈答用程度のやさい栽培でしたが、標高二五〇〇m以上の地帯で栽培されたムスタン産のやさいは味の良さで定評があり、消費地となるであろうネパール第二の都市ポカラ(標高八〇〇mで亜熱帯性気候)などで高い評価を受けており、四年にわたる試作検討から自信がつき取り組む方向となりました。

昨年六月訪問の最大の成果はやさい類の生産、出荷について共同で取り組む合意ができたことです。ナウリコット、コバン、ツク

チェなど村落単位で組合を設立、そこを中心に栽培技術統一、共同出荷を行う方向に固まりました。

現在のネパールには日本

の農業協同組合の組織はなく、やさい、果実類の流通は産地や都市商人が仕切っている実態で、ヌワコット郡カカニ地区のオカルパウワ村の農家によるイチゴの共同出荷につききり協同組合的な形ができそうと今後に期待しています。

栽培地の標高二五〇〇mは日本人の感覚からすると



▲順調に生育しているイチゴ。8千本から1万本栽培しているオカルパウワの農民。

作物栽培など無理と考える方が多いと思えますが、奄美大島、沖縄本島と同緯度であり、厳冬期でもマイナス五℃程度であり、信州の高原やさい地帯(標高九〇〇〜一四〇〇m)より、は

るかに温暖でキャベツ、大根、人参など畑で越冬できるほどです。

取り組み品目の内容については今まで折りにふれ書いていますので省略します。課題は担い手問題と交通輸送事情です。

担い手問題は日本農業と



◀バルン・ダマン村で政府からの試験栽培により収穫されたジャガイモ(トマトとジャガイモの交配)形は大きい日持ちは良くないようだ。



◀日本品種のカボチャもムスタンナウリコットにて

ます。

◆ヌワコット郡

イチゴが最大の需要品目で、今後ともその地位はゆるがないと確信しています。が郡農業事務所が主導している簡易雨よけハウストマト栽培とカトマンドウの業者が主導しているバラ栽培などが相当目につくようになりまし

た。

イチゴだけに頼るのではなく良い動きと受け止めていきます。

◆マクワンプール郡

キャベツ、カリフラワー、大根が三大品目で、アブラナ科やさいの難病害ネコブ病対策につきますが、以前に指導した諸対策が継続実施されておりまし

た。今後とも見守っていただければと考えています。(長野県佐久市)

道路は悪路で現在はトラックやジープ、トラクターでないとはむずかしい状況ですが、年々改良されることを期待して、いづれは周年出荷の方向と考えてい

ネパールで薬草栽培

アンナプルナファーム株式会社 鈴木 善久

私とネパールの関わりは六年前(2006年)に食事のため入った東京のカレー屋で知り合ったネパール人が最初です。その人や周りのスタッフの人柄の良さからネパール人に関心が湧き、ネパール人が働く他のカレー屋にも食事をしに行ってみました。そこで様々な話しをしていくうちに同様の人柄の良さを感じました。元々、山歩きの趣味もあるのでネパール旅行に非常に興味がわき、かつては普通の人が行けるとは思わなかった秘境、ヒマラヤに行くことになったのです。ネパール旅行は私の想

像を裏切らず、良い人々との出会いがあり、天を突きぬくような美しい雪山に見惚れ、ネパールのファンになりました。その後数回訪れることになりました。以前から事業を起こしたいの思いはあったのですが、数回のネパール旅行を通じてネパールの農村に薬草生産・輸出産業を作りた

いと強い思いが湧いてきました。このことをネパール人の友人に話すところな協力はなんでもすると言っ



▶野生の薬草を採取し、ツクチエの屋上で乾燥している鈴木氏。

事務局だより

▼ジャイチ

- 7月 ・国際交流フェスティバル in Marukoに参加 (長野県)
- ・機関紙43号の作業と発送 (約1300通)
- 8月 ・依田窪南部中学校よりランドセル22寄付される
- 9月 ・国際交流フェスティバル in Saku参加団体会議に出席
- ・ジャイチツアー最小催行人員に満たないため中止
- 10月 ・薬草の件で鈴木善久氏と打合せ
- 11月 ・丸山常務理事が総合指導でネパールへ出張
- 12月 ・機関紙44号企画・編集
- ・理事会 平成24年度上半期事業報告

バザーをありがとうございました。

- ・国際交流フェスティバル in Maruko (長野県上田市)
- ・国際交流フェスティバル in Saku (長野県佐久市)

▼ジャイチネパール▼

- 7月 ・学校定期試験実施と卒業生の送別会
- ・両学校夏休みに入る。8/18まで。
- ・教育省よりレカリ・バシファント学校の教師2名分と整備作業費が支給される。
- 8月 ・レカリ・バシファント学校の黒板の塗り替え。
- ・ヒマラヤ新聞理事がレカリ・バシファント訪問。
- ・ポカラ空港、国際空港建設要求抗議のため1日閉鎖した。
- ・計画停電週35~48時間。
- 9月 ・レカリ・バシファント学校でバレーボールの試合。教育大臣学校訪問。
- ・ブライター学校の新教室と寮の備品の調達。
- ・ネパール農業研究所がカカニ農場で菜類の研究栽培を開始。
- ・ゼネラルストライキ多発。(政府への要求・燃料値上げ反対など)
- ・SLC追加試験5名合格
- 10月 ・鈴木善久氏の薬草プログラムの手伝い。
- ・レカリ・バシファント学校のSLC卒業生の送別会と全建物屋根の塗装。
- ・ダサインとティハール祭休暇
- 11月 ・丸山常務理事総合指導で訪ネパールの案内会議等
- ・鎌倉恵子(教室建設費寄付)さんブライター学校訪問。
- 12月 ・ジャイチネパール事務所再度引っ越し
- ・両校定期試験
- ・レカリ・バシファント学校建物のペンキ塗装等保守作業
- ・計画停電週56~69時間(1日約10時間)

てくれ、何人かの人に会ううちにJAITIの人々と縁ができました。そしてこのプロジェクトがスタートしました。

選定し成分分析サンプルとして採取してきました。また、ネパールの植物資源局を訪ね、事業化に必要な許認可を確認しました。日本でネパールの薬草を医薬品原料として販売するには、日本薬局方にその種が収載されたうえで、購入していただけるメーカーが必要で、これには多くのハードルがあり非常に長い時間を要します。

募集予告

「JAITIネパールの農場と学校訪問の旅」

- ・日程 十一月初旬
- ・費用 八泊十日の予定 二十八万円を予定
- ・最小催行人員 十名
- ・主催 西遊旅行
- ・企画 ジャイチ

残念ながら昨年中止となりました。皆様のご参加をお待ちしています。

物故者のお知らせ

ご冥福をお祈りしますと共に今までのご支援に感謝いたします。

- 山口 富造様 埼玉県鴻巣市 十年十月
- 高木 弘行様 東京都墨田区 十一年一月
- 野田 千弘様 千葉県松戸市 十一年六月
- 藤巻禮四郎様 静岡県沼津市 十二年四月
- 安田 平八様 東京都国分寺市 十二年六月
- 高橋 武光様 東京都文京区 十二年十一月

集めています

| 寄付品 | 使 途 | |
|---------|---------------------|----------------------------|
| 毛糸 | 帽子 | レカリ・バシファント学校1・2年生用 |
| | 編みぐるみ・タワシなど | バザー出品用 |
| 布 | 通学カバンを縫います | レカリ・バシファント学校低学年用 |
| 書き損じハガキ | 切手に替えます (未使用ハガキも歓迎) | 通信費として活用します。(年賀状の残り・書き損じも) |
| 古切手 | 換金します (未使用切手も歓迎) | 維持費へ (切手の周りを5ミリ残してください) |

編集後記

そのほとんどがネパールに存在するといふ八千メートル級の十四峰登頂を日本人として初めて成し遂げた竹内洋岳さんのテレビ放映がありました。最後に挑戦したダウラギリ峰は登頂確立が僅か二割には驚かされます。まさに「白い山」の名のごとく、一昨年私も訪れたナウリフットのロジタサンピレッジの目の前に立ちほだかるようにそのダウラギリの雄峰は望めます。竹内さんは、同山での同士の遭難死や自らも九死に一生の体験の中で、困難だからこそ登りがいがある。しかし、登頂したことが終わりではなく、そこから無事に帰ることに意義があると述べていました。私たちの人生も、登山家の思いを重ねて大切に日々を過ごしていかなければならないと感じます。